

## 技術支援

林業技術センターでは、技術相談にお応えするとともに、次のような有料の技術支援メニューがあります。

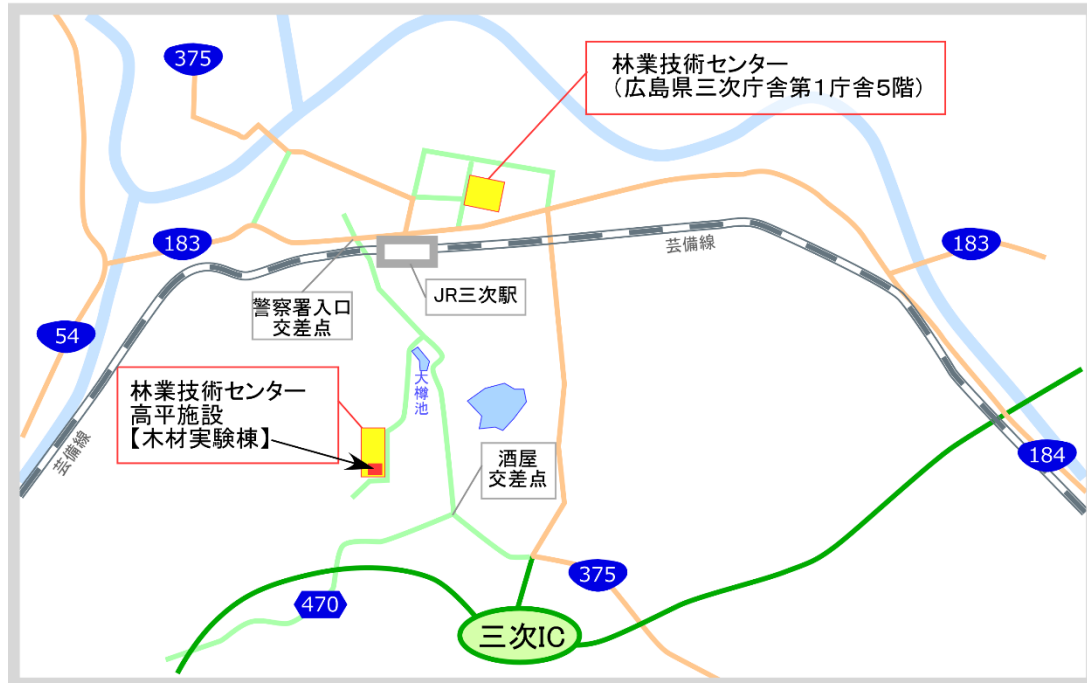
- ① 技術的課題解決支援事業（ギカジ）  
技術的課題の解決支援依頼に対して、その解決に向けて検討することを請け負うとともに、技術指導と併せて検討結果等を記載した技術支援レポートを交付します。
- ② 現地指導  
研究員が現地に行き、技術指導を行います。
- ③ 受託研究  
企業・団体等からの受託により研究開発・試験を行います。
- ④ 依頼試験  
設備・機器を使った試験を研究員が実施します（項目ごとの手数料金表あり）。
- ⑤ 設備利用  
木材実験棟の設備・機器の利用を受け付けます（項目ごとの使用料金表あり）。

技術支援に関するお問い合わせは、お気軽に技術支援部にご連絡ください。

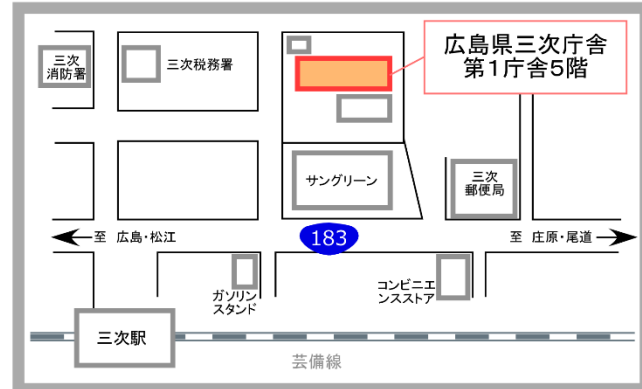
専用直通電話：0824-63-0897 Eメール：rgcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

## アクセス

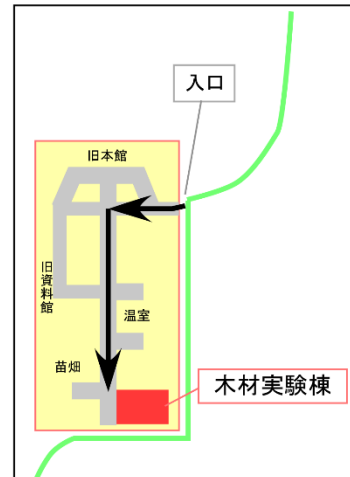
三次市広域案内図（林業技術センター、高平施設）



林業技術センター（広島県三次庁舎）周辺案内図



高平施設（木材実験棟）案内図



林業技術センター  
〒728-0013 三次市十日市東4丁目6-1  
電話 (0824) 63-5181 (代表)  
(0824) 63-0897 (技術相談専用)  
FAX (0824) 63-7103

# 令和6（2024）年度 林業技術センター要覧



**HiTRI** 広島県立総合技術研究所  
Hiroshima Prefectural Technology Research Institute

林業技術センター  
Forestry Research Center

ホームページ URL：http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/

【表紙の写真の説明】

上段左：木製品の強度試験（木材実験棟）

上段右：少花粉スギミニチュア採種園（庄原市）

下段左：ヒノキ球果のカメムシ袋掛け防除（庄原市）

下段右：外装更新した木材実験棟（三次市）

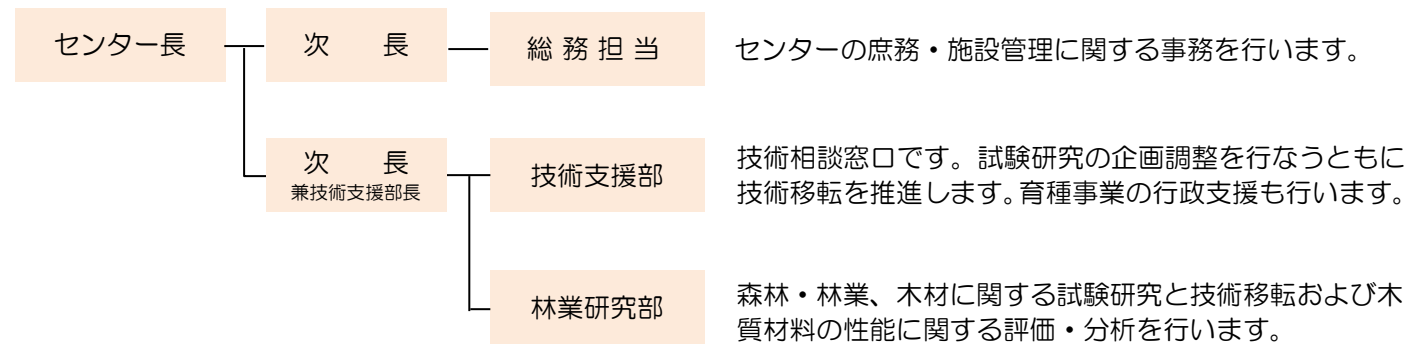
## 業務の基本方針

広島県立総合技術研究所は、「総合技術研究所中期事業計画（第2期）」（令和3～7年度）に基づき、県内の中小企業や農林水産業者（以下「事業者等」という。）のニーズに基づく支援を継続するとともに、デジタル技術などの進展に対応し、特に次の項目を重点として取り組みます。


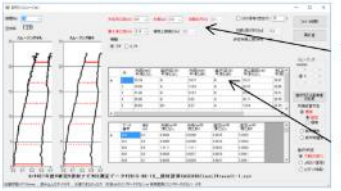
- (1) ニーズ起点  
事業局が発信する課題の解決に注力するとともに、より広く顧客の声を集めてニーズを把握・分析し、施策実現や課題解決に必要な技術開発の提案や技術支援に取り組みます。
- (2) 専門技術+デジタル技術強化  
従来の専門技術に加え、デジタル分野の課題に対応できる技術の獲得と支援機能を強化して、課題解決の精度やスピードの向上を図ります。

林業技術センターでは、林業・木材産業事業者等への訪問や技術相談、アンケート調査等を通じて県内のニーズ分析を行い、取組強化を図るとともに、事業者等との共同研究や受託研究を通じて、技術課題への解決策を提案する「ソリューション提案型支援」を行います。また、農林水産局の「2025広島県農林水産業アクションプログラム」の取組と連携し、施策実現に必要な技術開発の提案や県内の林業・林産業界の抱える課題の解決に向け技術支援を強化します。さらに、人材育成によりデジタル技術等の基幹技術を獲得し、課題解決を支える技術基盤の強化を図ります。

## 組織と業務内容



## 知的財産

特許名称	内容
木材圧密処理方法 (特許第4269004号)	木材をホットプレスで圧縮し、硬くすることで、従来とは異なる用途に利用できます  (有)一場木工所「ヒノハコ」
採材支援装置および制御プログラム (特許第6317052号)	立木の幹の形状を示す情報を用いて適切な採材位置を計算し、丸太の曲がり区分ごとの材積や金額を算出できます  材長の設定等 曲がり等級区分

## 主な試験研究の内容

### 【課題解決研究】

- (1) 「早生樹コウヨウザンの高品質化」と「省力化造林プロセス」の確立による持続的な林業経営の確立（令和4～6年度）  
県内人工林における伐採収穫後の再造林を促進するため、地形・地質や植生等に適応した『再造林技術』や、投資回収までの期間短縮が期待される『早生樹コウヨウザンの造林技術』の確立を目指し、次の3項目の試験研究に取り組みます。
  - ① 早生樹コウヨウザンの高品質化〔高強度の品種選抜、公益的機能（CO<sub>2</sub>吸収量、表土移動量）の見える化〕
  - ② 早生樹コウヨウザン造林技術の確立〔造林施業体系（骨格）策定、野ウサギ被害防除技術〕
  - ③ 機械化造林プロセスの確立〔地形計測解析技術、林業機械運用（最適走行経路）技術〕
- (2) 一次産業施設(ハウス)へのモデルベース開発(MBD)を活用した生産性向上を支援する施設内環境制御技術の開発（令和5～7年度）  
ハウス内の空気の流れを数値計算により予測する技術を活用することで、気流制御を利用した少花粉ヒノキの受粉向上及び交配作業の軽減化を図り、種子の安定供給を実現する環境制御技術の開発に取り組みます。



コウヨウザン試験地

野ウサギ被害防除試験地

林業機械運用試験(切株粉碎)

気流シミュレーションの一例

### 【基盤研究・受託研究】

基盤研究では、ヒノキやコウヨウザンの優良系統開発に向けた研究を行うほか、早生樹であるセンダンやチャンチンの成長調査、育苗試験などを実施します。  
受託研究（共同研究を含む）では、CLT（直交集成板）の強度試験や性能評価、コンテナ苗の生産技術の改良に向けた育苗試験などを予定しています。



センダン成長調査地

CLT土中埋設試験地

## 行政支援業務

### 【苗木生産体制整備事業】

- スギ・ヒノキの少花粉品種や特定母樹などの採種園を整備・管理して、優良品種の種子生産に取り組みます。  
(採種園整備・管理、球果採取、発芽検定等)
- 松くい虫に抵抗性のあるマツ（広島スーパーマツ）の種子を計画的に生産します。  
(採種園管理・種子生産・接種検定等)



少花粉スギの球果採取

抵抗性確認のための接種検定